

平成18年度 第2回 北九州市地方独立行政法人評価委員会

(議事要旨)

1 日時：平成18年6月9日(金) 15:00～16:30

2 場所：市役所庁舎 5階 特別会議室A

3 出席者：

委員(五十音順)

・石田委員長、片山委員、城水委員、福地委員

市側

<総務市民局>

・中西経営企画室主幹 他

<公立大学法人北九州市立大学事務局>

・丸山事務局次長、青木経営企画課主幹 他

4 議題

(1)北九州市立大学における平成18年度 年度計画について(説明)

(2)当評価委員会の評価方法等について(審議)

(3)その他

5 議事 (要旨)

<p>委員 長</p>	<p>(1) 北九州市立大学における平成18年度 年度計画について(説明)</p> <p>それでは、北九州市立大学より平成18年度の年度計画について、ご説明をいただきたいと思います。</p>
<p>大 学</p>	<p>《平成18年度 年度計画についての説明》</p>
<p>大 学</p>	<p>参考として、6月5日の日本経済新聞朝刊に掲載された記事を紹介します。東京都を除く全国の国公立大学135校を調査したところ、地域貢献度のランキングについて、北九州市立大学が1位の宇都宮大学と1ポイント差で2位になり、「住民」項目で平均22.9点を大きく上回る40点を獲得し、教員100人当たりの学術講演会・シンポジウム・フォーラム、小中高生向け講座、キャンパスを利用したイベントの開催件数でそれぞれ最高得点を獲得しました。大学としては、平素の地道な地域貢献活動が評価されたのではないかと考えております。</p>
<p>委員 長</p>	<p>ただ今大学側から説明がありましたが、委員の皆様、質問・意見等があれば、お願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>今の説明の中で、特に平成18年度の重点にしているのはあるのですか。</p>
<p>大 学</p>	<p>平成18年度の重点項目のところ、教育研究審議会の体制で副学長が今まで2名であったのを3名とし、所管を明確にしております。また、新しく入試から就職までの一貫した体制を整備するため、「入試センター」、「基盤教育センター」、「キャリアセンター」という組織をつくっております。これは平成18年度に内容も含めて充実させていきます。そういう体制の中で新しい学部・学科構成をどうするかということについて、今具体的な議論をしております。これについては、平成19年4月から発足できる形で進めております。その時には当然教育研究の中身もカリキュラム等を含めて充実させていくことを考えておまして、平成18年度はさらにそれを加速できるような形でいろいろな分野において具体的なソフト面も含めて充実できないかということ、重点計画を考えております。</p>
<p>委 員</p>	<p>副学長3人制の業務分担というのはどう言う考え方なのですか。</p>
<p>大 学</p>	<p>今までは2つのキャンパスで大きく分けていましたが、今回は3人のうち</p>

<p>委員</p>	<p>1人がひびきのキャンパスと産学連携担当、1人は学部学科担当、1人は地域貢献などの分野の担当です。</p> <p>副学長3人制をとる大学はかなり大規模な大学で、特に北九大の場合、財務運営は理事会の方でやるわけですね。そうすると財務運営の無いところで3人制をとると言うのはやや頭でっかちになるのかなと言う感じがちょっとします。なぜかと言いますと、入試センター等が新しくできることについては、入試センター長をおけばそれで十分だと思うからです。ところが副学長が上にいてまた入試センター長がいてずっとやると言うのは、ちょっと頭でっかちになり過ぎないかなと言う気がします。当然人件費的にも増えますから、いかななものかなと思ひまして。他の大学では、北九大規模ですと副学長2人制であります。ただ、北九大の場合キャンパスが分かれていると言う特殊事例がありますが、早くから3人体制をとられているのですが、学内で議論などは無かったのですか。</p>
<p>大学</p>	<p>当然それらについての議論もしまして、3人でやることによる役割の明確化ができないのではないかなと言う話もございました。人件費の高騰をまねかないかという話ですが、副学長のうちの2人は基盤教育センター、キャリアセンターの所長を兼ねております。重点的にするところは副学長が兼ねると言う形で、必ずしも役職手当が増えるわけではありません。全体として副学長が3人いるのかと言う議論もかなりあったのですが、新しい事業をかなりおこしますので、副学長のリーダーシップで学部横断的な分もかなり必要であろうと言うことで3人体制となりました。</p>
<p>委員</p>	<p>学科長の役割と言うのがありますが、学科長というのは学部の中の学科と言うそれぞれの学科のことですね。</p>
<p>大学</p>	<p>そうです。</p>
<p>委員</p>	<p>大学院の研究科長というのはどう言う形になりますか。</p>
<p>大学</p>	<p>大学院の研究科長も別にあります。</p>
<p>委員</p>	<p>必ずしもではないのですが、他の大学をみますと、大学運営をきっちり強化してやろうとすると学部長と大学院の研究科長を兼ねると人事その他が非常にスムーズにっております。それからすると、学部長と大学院研究科長が別になっていると言うのは運営体制の強化について多少心配であります。</p>

大 学	<p>国際環境工学科は平成13年に設置しまして、2年後には大学院の博士課程が設置され、国際環境工学部長が研究科長を兼ねております。北方キャンパスの方は特に経済学部で経済学研究科と経営学研究科という2研究科をもっていることもあって、それぞれ別に研究科長をおいております。実態として博士課程の社会システム研究科には専任の先生が4名おられますが、それ以外の研究科には専任の先生はおりません。学部の先生が研究科の大学院も兼ねるといった形をとっております。</p>
委 長	<p>学部の先生が大学院を兼ねますから、学部長と研究科長が兼ねていた方がスムーズなのかなという気がします。</p>
大 学	<p>現在、ビジネススクールの設置準備をしております。6月30日に文部科学省に申請するようになるのですが、ビジネススクール設置に向けて経済学研究科と経営学研究科個々の整理の話もありますので、その中で整理されていくものと思っております。</p>
委 員	<p>自主財源はどのようなものをお考えですか。</p>
大 学	<p>一番大きいのは学生が納入する授業料等です。それ以外には外部研究費で5億円くらいあります。大学外部からの受託研究費も増やしていくことを考えております。</p>
委 員	<p>危機管理はどのような内容を想定されているのですか。</p>
大 学	<p>教室とかで災害や事故が起こった場合は、どのように対処するかということに関して先生方はわかっているのですが、今まで学生に周知する手法はやってきていませんので、まずA3の紙に事故があった場合の対処法を書いたものを掲示・配布したりしております。</p>
委 長	<p>危機管理と言うのは、アメリカのテロとか阪神大震災の時のような非常に大きな災害を想定した場合が危機管理で、火災であるとか教室内で化学実験をしていて爆発したとか言うのはいわゆる危険管理であります。英語で言うと危機管理の方はクライシス・マネジメント、危険管理はリスク・マネジメントであります。大学にとって大きな暴動が起こるとかはクライシス・マネジメントであり、そうでない時はむしろリスク・マネジメントぐらいになるのかと思います。</p>

委員	組織体制とかこれから取り組むべきもの、支援事業とか何か1枚になるようなものがありますか。それを見れば全部わかるというようなものです。
大学	また、あらためて北の翼のパターンで整理したものをご用意させていただきます。
委員	この資料だけだと平成18年度計画は平成17年度計画に比べてどれが新しいのかと言うのがわかりにくい。さっき説明の時に話されたことはどう言うことで話されたのか、新しいことだから話されたのかよくわかりにくい。もっと工夫が必要だと思います。
委員	平成18年度の資金計画の収入の部分は、平成17年度に比べて増えているのですか。
大学	平成17年度と比べると1億円強増えております。
委員	増えた内容に受託研究なども入っているのですか。
大学	はい。
委員	ビジネススクールはどのような人や内容を対象にしているのですか。
大学	基本的には社会人の方を対象にしております。主な分野は、企業のマネジメントと自治体やNPOでのマネジメントのコースを想定して準備しております。
委員	是非、分野と対象と人数をきちっとしておく必要があるのかなと思います。
委員	メンタルケアやセクシャル・ハラスメントに対する体制はどのようなのでしょうか。
大学	セクシャル・ハラスメントなどは学部の先生方が男性に関しては男性、女性に関しては女性が相談員となって、メール等でいつでも相談できるようにしており、学生にも、どの先生が相談員かわかるようにしております。
委員	一方で個人情報保護という問題もあるので、きちっとした窓口と情報管理

	<p>をしておく必要があると思います。</p>
委員	<p>語学教員の異文化言語教育担当教員制度とはどのようなものですか。</p>
大学	<p>国立大学の外国人教師という制度と同じように、北九大も実施しております。平成17年度は11名ほどおりました。試験をしまして、平成18年4月から3名を5年の任期付きの教員という形で採用しております。任期にしましては、更新可能であります。</p>
委員	<p>言語についてはどうですか。</p>
大学	<p>3名のうち、朝鮮語の方が1名、英語の方が2名であります。</p>
委員	<p>環境保全とか省エネについては平成18年度計画ではどうなっていますか。</p>
大学	<p>前回の意見をいただく前に平成18年度計画を作成して公表しておりましたので、反映できておりません。しかし、北九州市の環境に関する研究部門を大学に移管して環境保全に資するような人材を育成するとか、そういったところでいくつかご意見を取り入れながらやっていきたいと考えております。今後の年度計画を策定していく中で、内部で検討して取り入れられるものについては検討していきたいと思っております。</p>
委員長	<p>(2) 当評価委員会の評価方法等について(審議)</p> <p>それでは、次の議題にうつらせていただきます。事務局から「項目別評価ポイント」及び「評価様式」についてご説明をいただき、審議をいただきたいと思っております。それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>《評価ポイントについての説明》</p>
委員長	<p>委員の皆様、質問・意見等があれば、お願いします。</p>
委員	<p>来年度の年度計画の説明の際には、平成17年度計画の横に平成18年度計画を並べてもらった方がいいですね。今度の平成18年度計画の説明についても、このように並べてもらった方がわかりやすかったと思っております。このようなものを作成していただければ、平成17年度計画から平成18年度計</p>

	画への経過もわかります。
委員長	それでは、評価ポイントにつきましては、委員の方にじっくりお考えいただいて、次回にでもと言うふうに思います。
委員	年度計画の説明の際には、平成 17 年度の計画に対してその横の列に大学の方からでてきた自己点検・評価があり、その横の列に平成 18 年度の計画があつてと言うような形があると時系列的に見ることができてありがたいかなと思います。
委員長	委員の皆様よろしいですか。それでは次にうつります。
事務局	《評価様式・公表についての説明》
委員長	委員の皆様、質問・意見等があれば、お願いします。
委員	公表の場合は、この委員会として公表するのですよね。また、取りまとめは事務局でよいのですよね。
事務局	そうです。
委員	実績報告書については、大学側から説明があるのですか。
事務局	はい。大学側からの説明後、重点的にヒアリングしなければならないものについて、もう 1 回審議を行って評価と言うことになります。
委員	決算書もそろそろできていますか。
事務局	はい。市の産業学術振興局の方でやっております。
委員長	それでは、評価様式については今のご説明でよろしいでしょうか。
	《各委員了承》
	(3) その他
委員長	それでは議題 3 と言うことで次回の予定等について事務局の方宜しくお願

事務局	<p>いします。</p> <p>実績報告書等は大学の役員会、経営審議会を経ていただく形になりますので、6月20日以降で日程を調整させていただきたいと思います。次回の第三回委員会では大学側から実績報告書のご説明をいただき、第四回委員会で重点的に説明をしていただいた方がよいことについて、ヒアリングをしていただこうと思っております。それでは、6月21日、28日、30日、7月3日、5日の中から決めさせていただきたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">《各委員の予定を調整》</p>
事務局	<p>それでは、第三回委員会を6月21日15時より開催したいと思います。ただ、大学側の手続きの進捗状況によっては6月28日になるかもしれません。また、第四回委員会につきましては7月3日13時からということはいかがでしょうか。</p>
委員長	<p>もう一度確認いたしますと、第三回委員会が6月21日(水)の15時から、第四回委員会を7月3日(月)の13時からということよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">《各委員了承》</p>
委員長	<p>それでは本日の委員会は終わらせていただきたいと思います。どうもいろいろとありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">委員会終了</p>